

施策の進捗管理シート

令和 6 年度

総合 体系 計画	分野	4	第4章	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	施策統括課	環境政策課
	施策No.	1	施策名	地球にやさしい低炭素社会の構築	課長名 (施策統括責任)	梶山 孝英
	関係課	バイオマス産業推進課 環境政策課 循環型社会推進課 上下水道局				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民や事業者、市民活動団体は、環境・エネルギー問題を意識し、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。
取組方針	市民一人ひとり、また地域や事業者に対して省エネルギーなどの環境負荷を減らすことのできる取組を積極的に啓発していきます。SDGsの目標や地域経済の向上を意識し、市民・事業者と協働して再生可能エネルギーの普及や未利用エネルギー及び二酸化炭素の活用促進に努め、低炭素社会の構築を推進します。また、本市の山から海まで広がる多様な生物の生息・生育環境の保全を図るとともに、市民が自発的に環境保全に関わることができるよう、あらゆる年齢層に応じた環境教育を推進します。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民、事業所						
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	市民や事業者、市民団体等は自然環境やエネルギー問題に高い関心を持ち、温室効果ガス排出抑制や自然環境の保全を意識して行動する。						
成果指標 A						単位	
省エネ等の環境問題を意識し、取り組んでいる市民の割合						%	
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
73.8	75.6	77.5	79.4	81.3	83.2	85.0	
	73.4	70.2	70.8	75.3	74.3		
成果指標 B						単位	
温室効果ガス排出量削減率						%	
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
11.0	12.2	13.3	14.5	15.6	16.8	17.9	
	22.6	35.4	28.3	33.2	41.0		

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	42.7%	45.5%	↑
ある程度重要である	39.3%	40.8%	↑
あまり重要ではない	7.2%	7.1%	↓
重要ではない	2.2%	1.2%	↓
順位	23/36位	23/36位	→

施策の満足度	前回	今回	
満足している	3.8%	4.1%	↑
どちらかといえば満足	41.4%	41.4%	→
どちらかといえば不満	31.5%	32.3%	↑
不満である	4.0%	4.6%	↑
順位	20/36位	19/36位	↑